※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	3	第３学年	Write to the Point(数研出版) 必携英語表現集(数研出版) SWITCH3(文英堂)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次で培った基本的な表現力をもとに、情報や考えなどを的確に書く能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育て、自然な英語で自己表現をできる能力を高める。

★　３時間の内２時間は少人数展開（１クラスを２クラス）で実施します。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語表現」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
様々なトピックに関して、他者の意見を聞き、自分の意見を正確に表明し、円滑に会話をすすめることができる。	英語理解 授業内のペアワーク 時事英語スピーチ	様々なトピックに関して、時間をさほどかけずに、論点を明確にした上で、適切な論理展開の文章を書くことができる。	英語表現 英作文添削、エッセイライティング、定期考査 時事英語エッセイ	自然な速さで標準的な発音で話されるテレビ番組や映画の母語話者どうしの会話の流れについていくことができる。	英語理解 リスニングテスト 時事英語ディクテーションテスト	数段落からなる様々なトピックの評論文などを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら全体の要旨を理解することができる。	英語理解 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを、以下の活動で評価。 ・授業中の意欲・姿勢 ・質問する姿勢 ・エッセイライティング ・ペアワーク/グループワーク	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を以下の活動で評価 ・定期考査 ・エッセイライティング	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を以下の活動で評価 ・授業中の意欲・姿勢 ・定期考査	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを以下の活動で評価 ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Write to the Point L5-7 （10 時間）	基本的な文法事項の確認とその運用	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		既習事項を活用し、身近な事柄を英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を積極的に英語で発信できるか。	・ペアワーク等で積極的な姿勢を示しているか ・発表の際、大きな声で発言しているか	・ペアワーク・グループワークの観察 ・発表態度の観察
		「英語表現の能力」			
		既習事項を活用し、身近な事柄をわかりやすく、理にかなった英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を理解しやすい英語で発信できるか。	・ペアワーク等で相手にわかりやすい英語を用いているか。 ・発表の	・ペアワーク・グループワークの観察 ・発表態度の観察
		「英語理解の能力」			
		既習事項を活用し、クラスメートや ALT が発信する英語を理解しようとする勢を養う。	2 年次までに学習した内容の運用。具体的には、クラスメートや ALT が発信する英語を聞いて、retell できるか。	・ペアワーク等で傾聴する姿勢を示しているか。 ・クラスメートの発言を retell しようと努力できるか。	・授業内発表 ・生徒自身による添削の取り組み ・Weekly Test ・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		既習事項に加え、ALT との TT を通じて、コロケーションや自然な英語を学ぶ。	教科書で学んだことと、実際の運用の際に生じるギャップを感じることで、さらに深い学びにつなげる。	・板書き・質問など積極的に授業に関わっているか。 ・ALT と積極的に話し合っているか。	・ペアワーク・グループワークの観察 ・発表態度の観察 ・ALT と交流の観察 ・Weekly Test ・定期考査
Write to the Point L8-11 （12 時間）	時間・数字の表現 仮定・条件	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		既習事項を活用し、身近な事柄を英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を積極的に英語で発信できるか。	・ペアワーク等で積極的な姿勢を示しているか ・発表の際、大きな声で発言しているか	・ペアワーク・グループワークの観察 ・発表態度の観察
		「英語表現の能力」			
		既習事項を活用し、身近な事柄をわかりやすく、理にかなった英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を理解しやすい英語で発信できるか。	・ペアワーク等で相手にわかりやすい英語を用いているか。 ・発表の際、わかりやすい英語を用いているか。	・授業内発表 ・生徒自身による添削の取り組み ・英作文添削 ・Weekly Test ・定期考査
		「英語理解の能力」			
		既習事項を活用し、クラスメートや ALT が発信する英語を理解しようとする勢を養う。	2 年次までに学習した内容の運用。具体的には、クラスメートや ALT が発信する英語を聞いて、retell できるか。	・ペアワーク等で傾聴する姿勢を示しているか。 ・クラスメートの発言を retell しようと努力できるか。	・授業内発表 ・生徒自身による添削の取り組み ・Weekly Test ・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		既習事項に加え、ALT との TT を通じて、コロケーションや自然な英語を学ぶ。	教科書で学んだことと、実際の運用の際に生じるギャップを感じることで、さらに深い学びにつなげる。	・板書き・質問など積極的に授業に関わっているか。 ・ALT と積極的に話し合っているか。	・ペアワーク・グループワークの観察 ・発表態度の観察 ・ALT と交流の観察 ・Weekly Test ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Write to the Point L12-15 (12 時間)	**仮定・条件** **比較** **譲歩** メッセージを伝えること・自己表現を意識した英語運用	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		既習事項を活用し、身近な事柄を英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を積極的に英語で発信できるか。	・ペアワーク等で積極的な姿勢を示しているか ・発表の際、大きな声で発言しているか	・ペアワーク・グループワークの観察 ・発表態度の観察
		「英語表現の能力」			
		既習事項を活用し、身近な事柄をわかりやすく、理にかなった英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を理解しやすい英語で発信できるか。	・ペアワーク等で相手にわかりやすい英語を用いているか。 ・発表の際、わかりやすい英語を用いているか。	・授業内発表 ・生徒自身による添削の取り組み ・英作文添削 ・Weekly Test ・定期考査
		「英語理解の能力」			
		既習事項を活用し、クラスメートや ALT が発信する英語を理解しようとする勢を養う。	2 年次までに学習した内容の運用。具体的には、クラスメートや ALT が発信する英語を聞いて、retell できるか。	・ペアワーク等で傾聴する姿勢を示しているか。 ・クラスメートの発言を retell しようと努力できるか。	・授業内発表 ・生徒自身による添削の取り組み ・Weekly Test ・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		既習事項に加え、ALT との TT を通じて、コロケーションや自然な英語を学ぶ。	教科書で学んだことと、実際の運用の際に生じるギャップを感じることで、さらに深い学びにつなげる。	・板書き・質問など積極的に授業に関わっているか。 ・ALT と積極的に話し合っているか。	・ペアワーク・グループワークの観察 ・発表態度の観察 ・ALT と交流の観察 ・Weekly Test ・定期考査
Write to the Point L16-18 (10 時間)	発展内容演習 ・長文英作文 ・自由英作文 ・自己添削	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		既習事項を活用し、身近な事柄を英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を積極的に英語で発信できるか。	・ペアワーク等で積極的な姿勢を示しているか ・発表の際、大きな声で発言しているか	・ペアワーク・グループワークの観察 ・発表態度の観察
		「英語表現の能力」			
		既習事項を活用し、身近な事柄をわかりやすく、理にかなった英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を理解しやすい英語で発信できるか。	・ペアワーク等で相手にわかりやすい英語を用いているか。 ・発表の際、わかりやすい英語を用いているか。	・授業内発表 ・生徒自身による添削の取り組み ・英作文添削 ・Weekly Test ・定期考査
		「英語理解の能力」			
		既習事項を活用し、クラスメートや ALT が発信する英語を理解しようとする勢を養う。	2 年次までに学習した内容の運用。具体的には、クラスメートや ALT が発信する英語を聞いて、retell できるか。	・ペアワーク等で傾聴する姿勢を示しているか。 ・クラスメートの発言を retell しようと努力できるか。	・授業内発表 ・生徒自身による添削の取り組み ・Weekly Test ・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		既習事項に加え、ALT との TT を通じて、コロケーションや自然な英語を学ぶ。	教科書で学んだことと、実際の運用の際に生じるギャップを感じることで、さらに深い学びにつなげる。	・板書き・質問など積極的に授業に関わっているか。 ・ALT と積極的に話し合っているか。	・ペアワーク・グループワークの観察 ・発表態度の観察 ・ALT と交流の観察 ・Weekly Test ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Write to the Point (発展編) (20 時間)	発展内容演習 ・長文英作文 ・自由英作文 ・実践演習 ・過去問 ・自己添削	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		既習事項を活用し、身近な事柄を英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を積極的に英語で発信できるか。	・ペアワーク等で積極的な姿勢を示しているか ・発表の際、大きな声で発言しているか	・ペアワーク･グループワークの観察 ・発表態度の観察
		「英語表現の能力」			
		既習事項を活用し、身近な事柄をわかりやすく、理にかなった英語で表現しようとする姿勢を養う。	2 年次までに学習した内容を基に、実際の場面で想定される表現を理解しやすい英語で発信できるか。	・ペアワーク等で相手にわかりやすい英語を用いているか。 ・発表の際、わかりやすい英語を用いているか。	・授業内発表 ・生徒自身による添削の取り組み ・英作文添削 ・Weekly Test ・定期考査
		「英語理解の能力」			
		既習事項を活用し、クラスメートや ALT が発信する英語を理解しようとする勢を養う。	2 年次までに学習した内容の運用。具体的には、クラスメートや ALT が発信する英語を聞いて、retell できるか。	・ペアワーク等で傾聴する姿勢を示しているか。 ・クラスメートの発言を retell しようと努力できるか。	・授業内発表 ・生徒自身による添削の取り組み ・Weekly Test ・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		既習事項に加え、ALT との TT を通じて、コロケーションや自然な英語を学ぶ。	教科書で学んだことと、実際の運用の際に生じるギャップを感じることで、さらに深い学びにつなげる。	・板書き・質問など積極的に授業に関わっているか。 ・ALT と積極的に話し合っているか。	・ペアワーク･グループワークの観察 ・発表態度の観察 ・ALT と交流の観察 ・Weekly Test ・定期考査